つんのーで！

佐世保市立中里中学校
学校だより　第２１号
文責　校長　川　口　貴　晴
令和７年８月２９日（金）発行

【学校教育目標】　「自ら学び、考え、行動し、自ら『生きる力』を培う生徒の育成」
【めざす学校の姿】「生徒が通いたくなる学校」「保護者が子どもを通わせたくなる学校」
「地域が自慢したくなる学校」「教職員が勤めたくなる学校」
【めざす生徒の姿】「愛（合い）のある生徒」
～支え合い、学び合い、磨き合い、高め合い、励まし合い～
【めざす教師の姿】「時代・社会の要請を理解し、自らの教師力・人間力を高める教師」
【めざす授業の姿】「生徒の主体性・確かな学力・生きて働く力を育む授業」

今年はどんな３６日間でしたか？

36日間の夏休みが終了しました。生徒の皆さんにとって今年の夏休みはどうのようなものでしたか。

夏休み前には、あれこれと計画を立て、「よし、今年こそは！」と意気込んでいたけど、連日の猛暑や時折襲ってくる豪や雷雨、そしていまだに衰えない新型コロナウイルスやその他の感染症などの影響もあって、計画通りに進まないことが多かったと思います。

このような厳しい生活の中にありながらも、県中総体、九州中学校体育大会、吹奏楽コンクール、駅伝練習、そして各部活動の練習や大会で懸命に頑張り、活躍した生徒を心から讃えたいと思います。また、夏休み中に連日登校し、勉強会に参加していた生徒もいました。すごいことです！とても立派です！

夏休みを終えた生徒数名にどのような夏休みであったかを尋ねると、「とにかく暑くて大変だった」「よく努力した」と答えた生徒もいましたし、「課題や宿題が終わらなくて・・」や「今年も計画倒れで・・」などと答える生徒とそれぞれでした。でも、皆さんが過ごした36日間は、決して無駄な日々ではなかったと思います。皆さん一人一人が、それぞれに元気に過ごし、思い出をつくったり、何かを学べたりした毎日だったと思います。そして、何よりも36日前よりも身長がぐんと伸びたはずです。（今度の身体測定でその事実が明らかになりますよ）きっと誰にとっても心身の確かな成長の跡が絶対にあった夏休みだったと思います。

いよいよ今日から2学期がスタートします。猛暑の夏に頑張った汗を養分にして、自分なりの花を咲かせ、実をつける時を迎えます。特に、3年生は進路選択という大きな壁に向かっていきます。その準備を着実に実行し、夢を実現していく２学期にしましょう。

また、1･2年生は3年生の後ろ姿から多くを学び取り、未来の自分の姿を思い描きながら今以上に成長してほしいと願っています。

9月も大きな行事が目白押しです。目標をしっかり見据えて、地道に取り組んでほしいものです。 まずは、1日から始まる夏休み明けテスト「実力テスト」（2･3 年生）に全力を注ぎましょう。夏休みの努力の成果を確認する大きな試金石となるテストです。頑張れ～!! Fight～!!

「二百十日」って何だろう？

「二百十日」とは、「立春」から数えて210日目に当たる日のことで、今年は、8月31日が「二百十日」です。（例年は９月１日頃）この時季は稲が開花･結実する大事なときですが、台風が相次いで襲来し、農作物が被害を受けてしまうことがよくあるため、昔から厄日とか荒れ日などといわれています。（諸説あり）

つまり、「二百十日」の時季は、生活をする上で、自然災害などに特に警戒し、災害への備えを怠らないようにせよとの戒めが込められているようです。

また、9月1日は、「防災の日」です。1923 年9月1日に発生した関東大震災に由来しており、9月1日の防災の日を含む1週間（8月 30 日～9 月 5 日）を防災週間と定めています。「防災の日」及び「防災週間」は、防災について考える1つの契機となっていて、全国各地で防災訓練や防災知識を普及･啓発するための行事などが行われています。

今夏は、記録的な大雨が続き、「大雨特別警報レベル5」という過去に経験がないほど「命にかかわる豪雨」を多くの都道府県が体験しました。改めて自然災害の怖さを実感すると共に、安全対策について考え直すよい機会になったのではないかと思います。

保護者様･地域の皆様

通学路や近所に危険箇所はありませんか？

今夏の記録的な大雨は本県のみならず日本全国にも大きな爪痕を残しました。これまでの大雨等により、校区内や通学路等に危険個所が発生していませんでしょうか。もしも、そのような箇所があれば早急にお知らせください。些細な情報でも構いません。生徒の安心･安全のためにもご協力のほどよろしくお願いします。

またもや実習生がやってきたっ！

8月25日から、「永田まとい」さんが、本校に教育実習生として来校しています。本校出身であり、将来は小中学校の養護教諭を目指しているそうです。9月19日(金)までの4週間の実習期間となっています。永田さんが充実した実習を行ったり、学びが広がったりするためには、生徒の皆さんの協力がとても大切です。

４週間、どうぞよろしくお願いします。

〈自己紹介〉

福岡県立大学看護学部4年の永田まといです。9月19日まで養護教諭の実習でお世話になります。短い期間ですが、皆さんとたくさんお話したいと思っていますので、気軽に話しかけてくださるとうれしいです。先生方や生徒の皆さんから多くのことを学びたいと考えています。よろしくお願いいたします。

当たり前のことを当たり前に！

8月27日、本校の本山SCが出勤中に、本校生徒が横断歩道を渡り切ったところで配慮してくれた車両に頭を下げていたと教えてくださいました。その態度も笑顔も素敵で、思わずほっこりしたそうです。本校生徒は、見えないところや人が気付かないところで当たり前のことをきちんとしてくれていることを大変嬉しく思います。このような嬉しい光景を見かけられたら、どんどん学校に教えてください。お願いいたします。

素晴らしい文章が掲載されました!

本校１年生の「辻　和真」さんは、これまでに長崎新聞の「声～若い広場」に何度も投稿し、掲載されました。「書くこと」が大事にされている学びの中で、それを行動に移し、具現化していることは大変素晴らしいことです。今回は８月１９日の新聞に掲載されています。中里っ子は、文化面も頑張っています！

文部科学大臣からのメッセージ

今日から２学期が始まりました。そのことに伴い、文部科学大臣から生徒の皆さん、保護者の皆様向けにメッセージが届いておりますので、本校ＨＰにアップさせていただいております。長期休業明けは生徒も保護者も何かと心配事や不安に思うことがあると思います。本メッセージをどうぞご一読いただき、お子様と十分にお話いただきますようお願いいたします。

また、何かご心配なことがございましたら、遠慮なく学校までご相談くださいますようお願いします。

文部科学省

中学生・高校生のみなさんへ
～ 不安や悩みを話してみよう ～

こんにちは。文部科学大臣のあべ俊子です。

夏休みが明け、学校が始まりますが、みなさんはどんな気持ちですか。

久しぶりに会う友人との関係が不安な人
将来に向けて進路や学業の問題で悩んでいる人
親子関係などの家庭内の問題に悩んでいる人
色々な不安や悩みを抱えている人もいるかと思います。

また、特に理由はなくても、気力が湧いてこなかったり、漠然とした不安を抱えていたりする人もいるかもしれません。

こうしたときには、一人で抱え込まないで、家族や友達、先生、スクールカウンセラー、誰でもよいので、自分の心の内を話してみてください。

周りの人に話しづらいときには、電話やメール、ネットの相談窓口を利用してみてください。

もし、あなたの周りに元気がない友達がいたら、ぜひ積極的に声をかけて、信頼できる大人につないでください。

文部科学大臣としても、みなさんの不安や悩みに寄り添いながら、みなさんが安心して学べる学校づくりに向けて、文部科学省一丸となって取り組んでいきますので、みなさんもためらわずに相談してくださいね。必ず味方になってくれる人がいます。

相談窓口の紹介動画

電話やメール、ネット等の相談窓口
（リンク先には警察、児童相談所等の相談窓口一覧もあります。）

令和７年８月
文部科学大臣　あべ　俊子

電話やメール、ネット等の相談窓口

（リンク先には学校や警察、児童相談所等の相談窓口一覧もあります。）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm